



地域の消防力向上に寄与

～軽消防車受納式～



▲機動力が期待されます

平成18年12月13日(水)、日本損害保険協会から寄贈が決定されていた軽消防自動車の受納式が市役所西有家住民センターで行われ、三村裕平(長崎県)会長から、松島市長へ目録が手渡されました。同協会は地域の消防力に役立ててもらおうと、昭和27年(1952)から全国の自治体へ消防車を贈り続けており、本年度は全国で20自治体への寄贈が決定されました。受納式で松島市長は、「日本損害保険

協会の活動に敬意を表し、心から感謝いたします」と感謝の言葉を述べ、石川嘉則南島原市消防団長へ目録を手渡しました。

軽消防自動車は、全自動小型動力ポンプ(B2級)付四輪駆動車で、西有家地区第1分団に配備されます。

また、市消防団南有馬地区第2分団の消防自動車を更新され、12月23日(土)、南有馬町八幡神社で入魂式が行われました。(写真・下)



▲南有馬地区第2分団に配備

南島原市消防団の概要

団長 石川 嘉則

地区団	地区団長	定数	団員数	分団数	ポンプ車	小型ポンプ
深江	石川 嘉則	168	168	8	8	—
布津	松崎 強	130	128	4	3	—
有家	佐藤 勝秀	250	250	8	2	6
西有家	石川 昭三	241	236	8	2	6
北有馬	柘植 太一	150	149	8	—	7
南有馬	山口 俊一	154	153	8	1	6
口之津	七條萬八郎	150	148	5	2	10
加津佐	高見 政光	100	100	2	2	6
南島原市合計		1,343	1,332	51	20	41

消防署の概要

名称	職員数	管轄区域・所有車両
南島原消防署	21	有家町、西有家町 ポンプ車(水槽付)1、救助工作車1、高規格救急車1、広報車1
布津分署	14	深江町、布津町 ポンプ車(水槽付)1、高規格救急車1、広報車1
有馬分署	14	北有馬町、南有馬町 水槽付ポンプ車1、高規格救急車1、広報車1
口之津分署	16	口之津町、加津佐町 ポンプ車(水槽付)1、高規格救急車1、広報車1



式典後は、西有家町内のかわいらしい「ちびっこ消防団」を先頭に、旧西有家漁協付近を分列行進。最後は須川港で

崇高なる消防精神に支えられた強い信頼と団結を築かれることを希望いたします」と、南島原市消防団員としての決意と自覚を促しました。



の放水訓練となり、護岸にずらりと並んだ消防ポンプ車がいつせいに放水すると、観客から歓声があがり、新春の空に水しぶきが広がりました。



南島原市の新春を飾る 平成19年 南島原市消防出初め式



新春の1月5日(金)、西有家中学校運動場および須川港付近で、南島原市として初めての出初め式が、市内8地区51分団の消防団員集結のもと、盛大に開催されました。

式典はまず消防団旗・消防署旗を掲げた各員の入場に始まり、人員報告、服装点検ならびに機械器具点検が行われました。松島市長を先頭に、すべての点検が厳しく行われる会場は、冷たい風とともにピリピリとした緊張感に包まれました。



松島市長は式辞の中で、「自らの地域は自ら守る、という消防精神のもと、消防力の強化のため、訓練を重ね、消防施設の点検に昼夜を問わず励んでいただいております。今後も消防に対する市民の期待は高まるばかりであり、その負託に応えていただきますようお願いいたします」と期待感を込め、全消防団員に力強くあいさつしました。

来賓として立石暁副知事は「近年の災害は、地球を取り巻く環境の変化とともに多様化し、被害の大規模化が懸念されています。このような中、災害の発生に対して、地域の消防、防災の要である皆様が迅速、かつ的確に対処され地域を守られていることは、まさに頼もしく、県民にとつての誇りであります」と祝辞を述べました。

また式典では、多年にわた



り消防団活動に貢献された方々に対し、消防庁長官表彰や長崎県知事表彰、南島原市長表彰など多くの方が表彰を受けられました。

消防庁長官表彰を受けられた、安藤秀樹さん(元南有馬町消防団長)は「身に余る光栄に存じますと同時に、心から感激しています。愛する南島原市に根をおろし、伝統ある消防団に入団して以来、先輩諸氏の厳しい中にも暖かいご指導を受けながら、なんとか防火の防人の一員としてがんばってまいりました」と被表彰者を代表して謝辞を述べました。

最後に石川嘉則団長は「雲仙普賢岳噴火災害が残した多くの教訓をもとに、団員諸君におかれましてはこれまで以上に消防技術の練磨に精励され、一人一人が南島原市の消防団員であることを誇りとし、

